

子育て世代には「子育てするなら高石市」といわれるような街を。せっかく住んでもらったお年寄りには、さいごまで安心して暮らせる街を。人口減少問題を克服するには、この当たり前のニーズに応えることがスタートです。

人口減少という問題から導く高石の展望

人口減少が止まらない大阪府においても、特に減っているのが泉州地域。そのなかで人口の減り幅がもっとも大きいのが高石市です（過去5年間）。

私が生まれたときと比べ**子供（0才～15才）は50%以上減少しました**。とある学年は一クラスしか編成できずに、クラス替えもできないまま進級していきます。地域のコミュニティを担うはずの自治会も担い手不足が叫ばれて久しくなりました。

少子化の影響もありますが、高石市は比較的「自然増（出生＞死亡）」が高く、主たる要因は**転入数が著しく少ないという現実**（※転出率はどの自治体も4～6%内で推移しているので、転入率の低さの方が問題視されるべき）。

よって、人口減少対策に効率的な手立ては「他市から高石に移り住んでもらう」ための政策優先されるべきです。

そのためには、

- 空き家バンクの導入、および運用方法
 - 2・3世帯同居等支援事業の周知不足の指摘（不動産屋に全く周知されていなかった）
 - 子ども医療費の拡充やおおぞら児童の充実
 - 放課後、学校を開放し、子供たちが元気いっぱいに遊べる環境の提供
 - いびつな学校区の改善
 - 産科の誘致や出生届けのワンストップ化
- …などを訴えてきました。

しかし、どんな呼び水よりも効果的なのは、「**高石に住んでる人たちの声**」だと思います。

高石市は他市に比べて、優れている部分がたくさんあります。小中学校の耐震化はもちろんのこと、幼稚園や保育園の耐震化も完了しており、学校のエアコン設置、完全給食まで導入されました。ここまで子育て・教育施設のハード面が整備されている自治体は精々、府下でも箕面市か高石市ぐらいです。

とはいえ、市民満足度が高まって「**高石って住みよい街**」というイメージは**市外どころか市内ですら浸透していない**のが正直なところではないでしょうか。

もちろん、市民満足度を高めるために後先考えずに税をばら撒いてはいけません。「あれもやりませ、これもやりませ」という政治に逆戻りされれば、私たちの子供たちがツケを支払うことになります。

お金をかけずにでも充実できることは、たくさんあります。私が提案してきた保育所の継続保育の要件緩和や介護予防の意識高揚策、出生届けのワンストップ化などが、まさしくそうです。

高石市は、暴力団事務所もなければ、いかがわしい業種の店もありません。平均所得は常に泉州ナンバー1（府下平均より上位なのは高石市と和泉市のみ）です。

これだけの住環境が整っているのですから、**文教都市として子育て・教育、そして安心して暮らせる住環境を**。

まちづくりの基本ともいえる「暮らしやすさ」をまずは市民と一緒に創り上げ、それが自然と「高石ブランド」と呼ばれるような、そんな展望を抱いています。

高石市議 / 2期目 / 無所属

畑中 政昭

は た な か ま さ あ き

日進月歩 NO.16

発行元：畑中政昭
市政報告機関紙

未来への挑戦。

約30万枚もチラシを配ったのは、
みんなに少しでも街や政治のことを考えて欲しかったからです。
「政策で政治家を判断する選挙」に近づけることが
高石市をよくする一歩だと信じています。

○高石ビジョン編（後半）…今後、畑中が掲げるビジョンと政策をお届けします。

この4年間、自分の足でポスティングをし続けたのは、市民への報告義務を果たすことはもちろんのこと、**政策型の政治・選挙を根付かせたかった**からです。

市民が政治家を判断するには、「高石をどうやってよくしていくの?」という視点を判断基準に入れた政策型の選挙に変えていくべきです。そんなことを言うと「市民は政策なんて読まん」という声が聞こえてきます。たしかに、地方議会でのやり取りや市議会議員のチラシなんて、世間のニュースからすれば退屈かも知れませんが、しかし、私たち政治家が「**どうせ読まれないんだったら、チラシを配るのやめよう**」と諦めてしまうことは、**市民を舐めた態度に他なりません**。私は、それだけは嫌でした。議会が終わるたびにチラシを自分の足で配り続けましたが、それだけで「高石市民が政策へ関心が高まる」わけではありません。**大体は政治家のチラシなんて読まれずに捨てられる運命にあります**。それをいかに読んでもらうようにするか、業者には任せず、この4年間でイラストの基本を勉強して、**読んでもらうチラシ作りの努力**が必要でした。もちろん、政策を訴えるのですから妥協できるはずもなく、私のチラシはB4両面文字ビッシリ。そんな「誰も読まんわ」と言われるようなチラシを、どうやったら読んでいただくかを考え続け、配り続けました。

最近「**虫めがねで見てるから楽しみにしてるぞ**」と嬉しいお言葉を重なるようにいただきます。一方で「**政治なんてよくわからない**」というホンネもよくお聞きします。そりゃそうです。でも、そこから逃げないで。高石市は私たちの街だから。よくわからない政治に向き合って、みんながもっと街や政治のことを考え、選挙で判断してもらおうようなまちづくりを、私はあきらめません。

Do You Hear the People Sing? ■